

令和6年度第2回長野県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
運営協議会開催概要

- 1 開催日時 令和7年2月25日（火） 10：30～12：05
- 2 開催場所 長野職業能力開発促進センター教室棟2F会議室
- 3 主な議題

(1) 説明事項及び説明内容（別添資料参照）

- イ 令和6年度職業能力開発事業実績について
- ロ 令和7年度職業能力開発事業実施計画について
- ハ 令和6年度第2回松本訓練センター一部会報告について

4 議事経過

資料に沿って事務局から説明が行われた後、意見交換が行われた。主な意見は以下のとおり。

(離職者訓練の入所に係る目標値について)

・橋渡し訓練の定員充足率が高くなっている一方で目標値が例年と変わらないとのことであるが、引き続き積極的な受入れをお願いしたい。

(橋渡し訓練について)

・就職氷河期世代の方がスキルアップを検討してハローワーク窓口に相談に来ることがあるが、今まで独学でやってきた部分について導入訓練を利用して基礎から学びなおしたいという意見が増えてきていると感じるため、導入訓練に対する期待に応えられるように今後も協力をお願いしたい。

(求職者に対する職業訓練の紹介について)

・企業側の人手不足によって、訓練を受けてから就職したいという求職者側のニーズは高くないため、よりよい就職に向けどうやって求職者と職業訓練をつなげていくかということが課題となっているため、ハローワークを利用する求職者だけでなく、ハローワークを利用しない求職者にもアピールできるよう、引き続き協力して取り組んでいただきたい。

(在職者訓練及び生産性向上支援訓練に係る満足度調査の結果について)

- ・作業効率を高めるために何をすればよいかは、事業主、従業員ともに気に掛けている部分のため、適切な訓練を提供できるように事業主側と連携していただきたい。

(在職者訓練及び生産性向上支援訓練の広報について)

- ・作業効率を向上させる上では **DX** はあくまで手段であり、生産性向上という結果が最も重要であるため、**DX** という名称よりも具体的にどのような訓練効果が得られるかを前面に押し出したチラシに変更したことは評価できる。

(機械系離職者訓練の広報について)

- ・離職者訓練で機械系の定員充足率が低いことを懸念している。業界では人材が不足しており、特に若手や新卒を求めているため、そういった世代が機械の業種にチャレンジできるよう、**PR** をお願いしたい。

(求職者情報誌の記載内容について)

- ・受講者ひとりひとりの背景や実情をより大切にしていきたい。求職者情報誌を見ると非常に優秀な受講者が多いので、ぜひその方々の中身が表現できるよう工夫していただきたい。

(正社員への就職を希望する訓練受講者の把握について)

- ・正社員就職率については受講者が正社員就職を希望するかどうかの影響するため、就職率のうち、正社員就職を希望しない受講者がどの程度を占めるかを資料で判別できるとより実情が反映されるので検討いただきたい。

(県との連携について)

- ・リスキリング支援に力を入れていきたいと考えており、生産性向上支援訓練などの制度をうまく使ってもらえるよう、引き続き制度の周知に力を入れていきたいので、ご協力いただきたい。

令和6年度第2回長野県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
運営協議会 委員名簿

区 分	氏 名	所 属 及 び 職 名
学識経験者 (1名)	森 俊也	公立大学法人長野大学 企業情報学部長・教授
労働者代表 (1名)	小松 豊	日本労働組合総連合会長野県連合会 事務局長
中小企業等代表 (5名)	平林 靖久	一般社団法人長野県経営者協会 専務理事
	井出 康弘	長野県中小企業団体中央会 専務理事
	高橋 孝一	一般社団法人長野県商工会議所連合会 常務理事
	中村 正人	長野県商工会連合会 専務理事
	内田 雅啓	公益財団法人長野県産業振興機構 専務理事
行政機関 (3名)	加藤 大吾	長野労働局 職業安定部長
	綿貫 昭二	長野公共職業安定所 所長
	河野 恵美	長野県 産業労働部 産業人材育成課長